

名古屋大学情報連携基盤センター

共同利用システム速報

No. 19

平成 15 年 10 月 24 日 発行

目 次

1 . 停電による計算サービス休止について	1
2 . 汎用データ可視化ソフトウェア AVS のレベルアップについて	1
3 . データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL のレベルアップについて	2
4 . スーパーコンピュータでの大容量ファイルの利用について (再掲)	2
5 . 汎用計算サーバ利用技術開発プロジェクトの公募について (再掲)	2
6 . グリッド研究推進実験プロジェクトの公募について (再掲)	2
7 . お試し計算可能な個別講習プログラム (再掲)	3

1 . 停電による計算サービス休止について

平成 15 年 11 月 16 日 (日) 8:00~18:00 の間, 構内変電・配電設備の点検のため東山地区全域が停電しますので, 下記のとおり計算サービスを休止します。

システム名	休 止 期 間
vpp	平成 15 年 11 月 16 日 (日) 1:00 ~ 17 日 (月) 13:00
gps	平成 15 年 11 月 16 日 (日) 1:00 ~ 17 日 (月) 13:00
nucc	平成 15 年 11 月 16 日 (日) 7:00 ~ 19:00

11 月 17 日 (月) 午前中は, 定期保守を行います。

2 . 汎用データ可視化ソフトウェア AVS のレベルアップについて

汎用データ可視化ソフトウェア AVS が, 10 月 20 日より, AVS Express6.2 にバージョンアップしました。このバージョンでは, 次の機能が拡張されています。

- ・ 初心者でも可視化が簡単に行える、ウィザードモジュールのサポート。
- ・ テキストファイル, バイナリファイルの読み込みモジュールのサポート。
- ・ GFA ファイル (3 次元動画ファイル) の透明度のサポート。

- ・ BMP イメージファイルへの出力サポート。
- ・ アプリケーション起動モジュールのサポート。

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.kgt.co.jp/library/manual/avs/express/relnotes62.pdf>

3 . データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL のレベルアップについて

データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL が、10 月 20 日より、IDL 6.0 にバージョンアップしました。このバージョンでは、次の機能が拡張されています。

- ・ iTools 機能(プリビルド・インタラクティブビューワ)のサポート。
- ・ Virtual Machine 機能 (.sav ファイルの実行環境 (無償提供)) のサポート。
- ・ Java Object へのインターフェースのサポート。

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.ResearchSystems.com>

4 . スーパーコンピュータでの大容量ファイルの利用について (再掲)

スーパーコンピュータ vpp で利用できるファイルシステムには、2 種類あります。一つは、スーパーコンピュータのホームディレクトリの/home/usrN/user-id のファイルです。もう一つは、/home/dpfs のディレクトリのファイルで、こちらは大容量のファイルや並列ジョブからの入出力に適したファイルです。スーパーコンピュータで1つのファイルが数百MB以上になるファイルを作成する場合には、ファイル処理性能や容量面からも/home/dpfs のファイルを利用することをお勧めします。なお、この dpfs のファイルを利用する場合には、dpfsdir コマンド(/home/dpfs/usrN/user-id のディレクトリを作成する)でディレクトリを作成してからご利用ください。

5 . 汎用計算サーバ利用技術開発プロジェクトの公募について (再掲)

汎用計算サーバ gpcs は、64 台の CPU と 64GB のメモリを搭載している SMP です。このサーバを利用して、利用技術開発を行うプロジェクトを募集します。プロジェクトの実験期間は3ヶ月程度で、利用に掛かる負担金はセンターが負担します。公募の詳細は、センターのホームページを参照してください。

6 . グリッド研究推進実験プロジェクトの公募について (再掲)

3 月末にグリッドコンピューティングシステムとして、富士通 HPC2500(2 ノード構成、1 ノードあたり CPU32 台、メモリ 32GB) が導入されました。このシステムを利用して、グリッド研究推進実験に参加するプロジェクトを募集します。プロジェクトの実験期間は、年度ごとです。公募の詳細は、センターのホームページを参照してください。

6．お試し計算可能な個別講習プログラム（再掲）

スーパーコンピュータや汎用計算サーバを使って

スーパーコンピュータや汎用計算サーバを使って計算したいのだけれど、手持ちのプログラムがスーパーコンピュータで翻訳実行できるかどうか分からない、ベクトル化や並列化によるプログラムの高速化のための技法がわからないなどの理由で、利用を躊躇しているユーザが多いのではないのでしょうか。そのような人のために、スーパーコンピュータや汎用計算サーバが試用可能な無料の教育プログラムを始めます。

期間　　：2週間（ただし、条件により延長も可能。）

使用条件：CPU時間の上限を設定します。

センターの計算機利用に関してまったくの初心者にも対応します。また、プログラムの走らせ方、プログラムチューニングに協力します。原則として、個別対応となりますので、計算機の利用時期等は、相談の上決定させていただきます。

申し込みは、センターのホームページからお願いします。